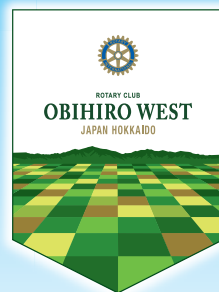




帯広西ロータリークラブ 第1967回例会 2012.10.4 会報



■RI第2500地区テーマ■

心と心、笑顔と笑顔、今奉仕のために行動を起こそう



■クラブ・テーマ■

学ぼうロータリー、訪ねようロータリークラブ

ゲスト紹介

前帯広市長 砂川敏文様
米山記念奨学生 カミングキード・キャサリン様

10月結婚祝、誕生日 (中川会員より披露)

- 結婚祝 河合会員、岡田会員、鈴木会員、近藤会員、林会員、越智会員
- 誕生日 本田会員、佐々木(嘉)会員、松見会員
- 乾杯の音頭 越智孝佳会員

会長報告

川田会長



本日は、砂川前帯広市長にお越しいただき有難うございました。砂川市長時代に帯広市単独開催を決めた「ばんえい競馬」についてお話をしたいと思います。

私は現在、ばんえい競馬にかかわる6団体からなる「ばんえい競馬振興連絡協議会」の会長をしています。当初は、ばんばとこのように深く関わることになろうとは夢にも思っていなかったのですが、東京映画祭でグランプリをとった「雪に願うこと」(帯広でロケ)を経済人で上映を成功させようという会を作ったのがきっかけでした。

昨年、調教師会や騎手会、馬主協会などから「会長、馬を持たなければダメですよ」と攻められ、うちの奥さんのご機嫌をうかがいながら、オスの一歳馬を購入しました。今年、2歳になったのですがすぐレースに出られるかな?とと思っていたのですが、レースデビュー前に能力検定というのがあり、その検定試験に2回も落ちてしまい3回目にやっと合格、5月に何とかデビューを果たし、現在まで戦績は6戦して、一着が1回、二着が1回、あとは全部どん尻という結果です。どうも馬主に似て落ち着きがなく気分屋さんのようで、気に入らないとすぐ斜めに走ってしまいます。牡馬の中には雌馬が隣にいとそっちの方ばかり寄って行き、さっぱりレースにならない馬もいるようで、まっすぐ曳かせるのは至難の業だそうです。

2007年には、旭川・北見・岩見沢の3市が「ばんえい競馬」から撤退、帯広市の単独開催となりましたが、その後、厳しい運営が続いています。昨年末にソフトバンク系列のオッズパークマネージメントから旭川の会社に運営母体が移行しましたが、現在は堅調な売り上げを維持しています。

今月の13・14日両日には、競馬場で「ばんば祭り」が行われます。メインの人間ばんばワールドチャンピオンシップも14日の日曜日に行われる予定で、今回は高松からのチームのほか静岡県からのチームも参加予定で、楽しくなりそうですのでぜひ応援に来て下さい。

委員会報告

•クラブ規定検討会議

帯広西ロータリークラブのクラブ細則を現状に合った新しい細則に改定するように、との諮問がありましたことについて、検討会議で慎重に協議し、細則改定案を作成しましたので、提出いたします。

山本議長



ニコニコ献金

尾藤会員より披露

- 川田 章博会長 砂川前帯広市長来訪に感謝。
川上 哲平会員 37回目のエイジ・シュート達成。
佐々木和彦会員 本日の職業奉仕委員会担当例会、よろしく願いいたします。
同 東光舗道様のゴルフ・コンペで優勝。
北川 勝啓会員 音更RCに初のビジター訪問、新鮮な経験ができました。
同 東緑陽高校野球部が秋季全道大会に初出場しました。PTA会長です。

2012年 10月 職業奉仕月間

ニコニコ 献金	10月4日	12,000円
	累計	242,000円 (10月4日現在)



会長 川田 章博 副会長 岡田 武穂 会場監督理事 上垣香世子 発行：広報委員会
幹事 大友 広明 副会長 古田 敦則 プログラム委員会理事 河西 智子 委員長 鈴木 享 (副)本田美喜男



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル4階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

◆ プログラム

職業奉仕委員会 佐々木和彦委員長

以前、市長時代の砂川さんに会ったとき、いろいろな政策の決定方針は、「みんなに平等か」「市民のためになるかどうか」の二つを考えながら決定していると同じ、これはロータリーの「四つのテスト」と同じ考えであり、今思い起こして、ぜひお話を伺いたいと思い、お招きをした。



今だから話せるあの時の決断

前帯広市長 砂川敏文様

企業経営をされているみなさまは、日々、決断の連続であると思うが、行政にも同じような面があった。大きなことでも小さなことでも、決断には何らかのリスクが伴うものである。

市長時代のいろいろな決断のひとつに、ばんえい競馬の継続があった。大きな赤字があり、運営も厳しく、共同開催の岩見沢、旭川、北見は継続断念の考えであった。しかし、私にはこれは将来のために残しておくべきものという思いがあった。残すべきだが、このままではならない。でも、残したかった。

「それは何故か」が決断の一番のベースになっていた。

北海道開拓100数十年の歴史の中で、馬が果たした役割は大きいし、馬がいたからこそ十勝の開拓も成功したと言える。これは正に地域の歴史であり、この歴史を大事にし、忘れてはならない。私が生まれた四国の讃岐には数千年の歴史があるが、北海道の歴史、開拓というのはまだ僅かに100数十年でしかない。ということは、いま生きて住んでいる我々がこの北海道、十勝を作り出している、新たに創造している途中なのだ、と考えられる。それは、この先、どのような地域にするかということに、我々は大きな責任を持っていることであるし、やろうと思えばやれるということである。今の時代が歴史、将来に大きな影響を与えることができる。そのためには、今まで作られてきたものを残して、将来に伝え、それを基盤に積み上げていくことが必要と考える。今までのものをどんどん無くしていったら、いつまで経っても新しい地域で終わってしまう。歴史や伝統を持った地域にするためには、先人、先輩が努力してきたもの、考え方を将来へ残し、積み重ねることが大事である。「ばんば」もそのひとつと考えたのである。「馬の文化」のひとつとして、もっと価値を認識してもらうことが必要と考えたのである。

しかし、残すとしても様々な問題があるし、市の財政への圧迫がある。だが結果としては、共同運営4市のうち3市が撤退して精算をしたが、北海道、十勝の財産として帯広単独でやることとした。

そのための条件整備は、1. 経費の節減は当然である。2. 市の一般会計からの補填はしない。3. 将来、最悪を想定して廃止があるとしても、従業員、馬主への保証はしない。4. 市としては、世界中でここにしかない歴史的、文化遺産を守り、地域活性化として努力を続ける。

これらを説明して、継続を決めたのである。民間でも行政でも、何事も100%賛成ということはない。必ず反対があるものであるが、そればかり考えたら何も進まない。行政、組長としては、反対があっても自分の信念なり見通しに基づいて、説明をし、説得して実行していく責任がある。そういう時、行政の場合、決定に求められるものは「みんなに平等か」ということだと思う。

さて、行政におけるリスク・ヘッジは、中々に難しい。いろいろな施策を実行していく場合、その施策が成功するか、しないかは極めて重大であり、成功しなく、代替はきかないのである。

行動に伴って、「進めて」も、あるいは「しない」ということでもどちらにもリスクはあるものである。リスクについて、行政において感じたことは、リスク全体の評価は、リスクが大きいか小さいか、起きたときの影響だけを考えるのではなく、その可能性、確率も考えるべきであるということである。

つまり、「起きたときの影響×その可能性、確率」である。影響が大きいとしても可能性が低ければ、リスク全体の評価は小さいということになる。また、リスクの評価は、人間が判断するのだから、判断にバイアス(先入観、偏見)がかかってしまうことがある。

「確証バイアス」というのがある。評価する人にとって気に入らないとか、予見しているものを廃する場合があります、そういう時はリスクを小さく評価してしまう。

「正常性バイアス」というのは、今までの延長で考えたり判断するケースだが、これもリスクを小さく考えることになる。

このようにいろいろなバイアスがあるが、バイアスがかかると、リスクを評価するとき間違ふ可能性が出てくるものである。

ところで、リスク・ゼロのものはない、何にでもリスクはあると思う。美味しい水を飲むことは安心だし、リスクはないが、例えば10リットルも飲めば身体に影響(リスク)がある。飲む量を適度にすればいいのである。

このように何にでもリスクはあるが、どうやるか、どう考えるかが大事なことなのである。

リスクについて、定性的考えと定量的考えがある。「定性的考え」とは、リスクがある、ないと感覚的に考え、リスクがあったら大変だということになり、行政の場ではこのような考え方は問題があるところである。「定量的考え」とは、リスクはあるがそれはどれだけあるのか、何%か、可能性はどうかを計算してみる必要がある、避ける努力が必要だ、という定量的評価であり、このような捉え方が妥当と思われる。

最後に、最近企業でも行政でも、その取り組みに対する重要性が問われるのがコンプライアンス(法令遵守)とCSR(社会的責任)である。企業も行政もその社会的責任を果たすとはどういうことか、を考えなければならない。

これらをディフェンス(守り)と消極的に考えるのではなく、オフENSEに転換して「生かすことはできないか」とプラスに考えることが必要であり大事ではないか。

◆ 謝 辞

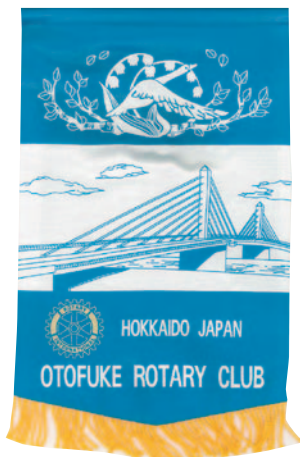
久し振りにお会いしたが、市長時代よりお若くなったように見える。それだけ、市長の時は大変であったのだと拝察しました。市長の時の大きな決断、「ばんえい競馬」は私が「ばんえい競馬振興連絡協議会」の会長として、また、「屋内スケートリンク」は平田利器会員が理事長として、二つの遺産を当クラブで引き継いでいる。また、ご出身の高松のロータリークラブとは友好クラブとしてお付き合いをしている。

砂川さんにはご縁のあるクラブですので、またのご来訪を待っております。

川田会長



訪ねようロータリークラブ … 神田会員、北川会員 音更クラブを訪問



音更ロータリークラブ

- 訪 問 者／神田龍一会員、北川勝啓会員
- 同 行 者／米山記念奨学生
カミングキード・キャサリン
- 例会場所／音更町 木野農協ハピオ 2F
- 会 員 数／約40名(うち女性会員1名)
- 2012～13年度／会 長 高倉 功和
幹 事 小枝 秀則
エレクト 猪子 茂昭

お知らせ

わが西クラブの新しいバナーが「ロータリーの友」10月号 ⑮ページに紹介されておりますので、ぜひご覧ください。

例会風景 (2012-10-4)

